

支部だより 呉地区支部 日帰り県外研修会「松山」へ

呉地区支部 研修委員会 中野 敏己

会員の協力により、「呉建築セミナー」をはじめ、いろいろな行事を行っています。会員の親睦と研修を兼ねた「県外研修会」もその一つ。温泉一泊旅行や都会の施設見学など、さまざまな研修旅行を実施してきました。近年、参加者が減少し、特に青年部や女性委員会の若い世代の参加が少なく、企画する研修委員会の悩みでした。参加者の固定化、世代間の考え方の違い、3万円を超える費用の負担などが障害になっているようです。そこで昨年度は、若い世代をターゲットにした都市型の施設見学を企画。ビジネスホテルに泊まり、小倉、門司、下関

の新しい建築物を見学しましたが、やはり若い人たちの参加は少なかったのです。

今年度は、3月12日「日帰り県外研修会」（参加費用1万円）を実施しました。残念ながら参加者は25人と少なかったのですが、豪華な昼食での酒の進み具合や温泉に入った時の皆さんの満足そうな笑顔を見て、良い企画だったと自己満足しております。今後も多くの方に参加していただき、会員の親睦を図る有意義な県外研修会になるよう、いろいろな企画を検討していきたいと考えております。どうぞアイデアをお寄せください。

研修コース

7:30 大型観光バスで呉を出発
(山陽自動車道・しまなみ海道)
10:30 村上水軍博物館
(しまなみ海道)
12:30 道後温泉「椿館」で昼食・入浴
15:00 愛媛県武道館
17:00 松山観光港
(フェリー)
19:00 呉港着



村上水軍博物館

2004年(平成16年)10月にオープン。

「水軍をテーマにした町おこし」の結晶として、町民の長年の尽力で完成しました。戦国時代、瀬戸

内海を支配していた村上水軍の活躍や生活ぶりがよく分かるように展示が工夫されており、1時間の見学時間があっという間に過ぎていました。歴史好きの人にはぜひとも訪ねてほしい博物館です。

愛媛県武道館

瓦葺きの大屋根、妻側正面の外壁面に大きな杉丸太を配した外観とボリューム感に圧倒されます。メインアリーナ面積約2400㎡を誇る主道場は日本武道館に匹敵する規模です。内外装には愛媛県内産の材料を豊富に使用。メイン構造は鉄筋コンクリート造ですが、大屋根を支える大スパンのトラスは地場産の杉の集成材でできており、ひし形の格子が連続するトラスは意匠的にも一見の価値があります。集成材の断面が少し細



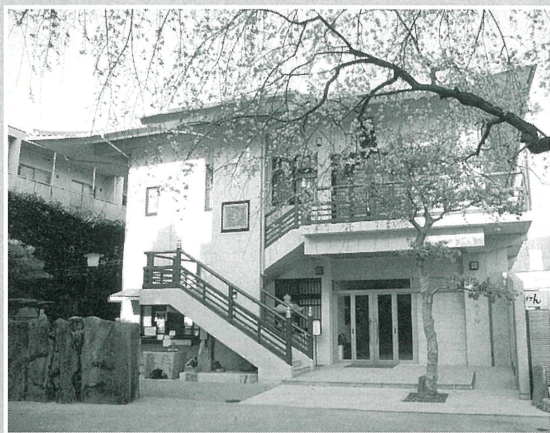
い気もしましたが、その理由は集成材加工場で製作可能な大きさに合わせたからだそうです。もちろん鋼材の補強は入っています。大断面の集成材に比べ、シャープできれいです。国内最大の切り妻屋根には地元で700年の歴史を持つ「菊間瓦」がなんと32万枚も使われています。腰壁には重厚な城のイメージを表現するため、地元の大島石をふんだんに使用。総工事費128億円のうち石代がどのくらいだったのかと心配していたら、「予算の関係で中国産も使っています」と案内の人がこっそり教えてくれました。

MONTHLY 建築士

IROSHIMA



表紙写真について



持明院 本堂・檀信徒会館

- 設計／(有)アークス・一級建築士事務所
- 施工／松井建設株式会社
- 所在地／広島市東区戸坂
- 規模／地上2階
- 構造／RC造 一部S造
- 竣工／2003年10月

1階に檀信徒会館、2階に本堂を配し、祭壇から大小の葬儀まで、さまざまな用途に対応できるよう、バリアフリーでフレキシブルな空間を備えた「機能的でモダンなお寺」をコンセプトとして設計を行いました。

(有)アークス 高田 宏幸

会報の発行について

広島県建築士会 会長 錦織 亮雄
編集委員長 熊野 勲

広島県建築士会では、会報誌「建築士ひろしま」をこれまで年3回発行していましたが、2003年(平成15年)4月1日に第151号を発行後は2年間にわたり会報誌の発行ができておりません。その間、会員の皆様には県内での建築士会の活動についての情報が十分に行き渡らず、大変ご迷惑をおかけしておりました。

昨年来、会報誌の発行をはじめ士会活動の活性化の模索をしております。特に会報誌の発行については流れが元に戻らず苦慮しており、とりあえず当面のインフォメーションのために第152号(05-4)を発行いたしました。今年度からは、新たな方針に沿って「建築士ひろしま」と「月刊・建築士ひろしま」を発行します。

■「建築士ひろしま」

年2回発行。年度前半に事業計画・予算・活動組織・支部の活動計画などの詳細を掲載した活動計画版を発行し、年度後半にその年度の活動報告の詳細や会員の作品などを紹介する活動記録版を発行します。原則的に「建築士ひろしま」はドキュメントを目的とします。

■「月刊・建築士ひろしま」

4月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月に発行します。月刊ニュース・県本部と各支部の催事の案内・CPD情報・活動レポート・会員情報・事務局通信などを迅速に掲載します。

また、会報とは別に広島県建築士会のWEBサイトも抜本的に改定していきますのでご利用ください。

募集!

新しくなった会報誌に、皆さんの身近なニュースや写真などを載せてみませんか?

会員の皆様からのご応募をお待ちしております。締め切りなど詳しくは下記へお問い合わせください。

広報委員長：高田 輝雄

〒730-0036 広島市中区袋町4-32

TEL：082-249-0732 FAX：082-249-0745

mail：ahk-s@xpost.plala.or.jp

お知らせ

建築主、設計者、建設業者、解体業者の皆様へ

「吹き付けアスベスト」を使用した建物の解体工事等について

アスベスト(石綿)は、天然に産出される繊維状の鉱物の総称で、耐熱性・耐久性等に優れた特性を有し、かつ、安価なため、耐熱・耐火・吸音等を目的とした建築材料として使われ、吹き付けアスベストとしては、1980年(昭和55年)ごろまで使われてきました。

しかしながら、ご承知のように、アスベストが安定している場合には、耐熱性・耐久性等にきわめて優れた材料ですが、解体等の工事に際し、アスベスト繊維が飛散すると工事作業員や付近住民への健康被害が懸念されます。

このため、吹き付けアスベストの使用されている建築物の解体工事及びアスベストの除去工事の実施には、作業環境・地域環境等に十分配慮していただくようお願いします。吹き付けアスベストの除去工事は、日本建築センター監修「既存建築物の吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説」に従って実施してください。

また、アスベストの除去工事、アスベスト廃棄物の処理に際しては、事前に届出が必要です。それぞれ、広島市環境局環境保全課 ☎082-504-2187、または広島市環境局業務部産業廃棄物指導課 ☎082-504-2226に問い合わせてください。

なお、アスベストの使用の有無にかかわらず、建築物を除去する場合は、事前に「建築物除去届」の提出、また、延べ面積が80㎡を超える建築物を除去する場合は、あわせて、建築リサイクル法に基づく届出書の提出が必要ですので、留意されますようお願いいたします。



問い合わせ先

広島市都市計画局指導部建築指導課

連絡先 ☎ 082-504-2288

または 各区役所建築課 段原再開発部補償課

伝言板

研修事業への参加のお願い

三原支部内にある「三原市歴史的建造物調査研究会」への参加をお願いします。本年は糸崎神社の神門の調査を予定しています。三原支部、編集委員長の小林次男(☎0848-63-8381)までご連絡ください。

2005 Information Calendar

5月・6月の行事予定

5 may

1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	一級建築士試験申込受付
10	火	〃
11	水	〃
12	木	〃
13	金	〃
14	土	三原支部・総会(予定)
15	日	
16	月	
17	火	理事会(15:00~)
18	水	
19	木	
20	金	日本建築学会中国支部・総会
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	日本建築士連合会・総会
26	木	
27	金	
28	土	定時総会(呉海事歴史科学館)
29	日	
30	月	
31	火	

6 June

1	水	支部対抗ゴルフ大会
2	木	(久井カントリークラブ)
3	金	
4	土	ソフトボール大会(三原支部)
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	建築士会全国大会(名古屋市)
9	木	前夜祭等
10	金	建築士会全国大会(名古屋市)
11	土	建築士会全国大会・見学会
12	日	建築士会全国大会・見学会2日目
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	建築士会中四国ブロック会議
17	金	〃
18	土	
19	日	
20	月	編集委員会
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	



社団法人 広島県建築士会

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-8-4 日興ビル3F

TEL (082) 244-6830(代)

FAX (082) 244-3840

mail: info@k-hiroshima.or.jp

- メールアドレスを変更しております。以前のアドレスもしばらく使えますが、早めに変更していただきますようお願いします。
- HPもリニューアル中です。UPしましたら、お知らせします。